

祝 成人

平成27年成人式

新たな門出を祝福



進行を務めた林さん(左)と鈴木さん

市民ふれあいセンターで1月11日、平成27年成人式が開催され、新成人399人の新たな門出を祝いました。

今年の新成人は、平成6年4月2日から平成7年4月1日までの間に生まれた市内在住者・出身者の399人が対象。式典には、真新しいスーツや華やかな着物に身を包んだ新成人328人が出席し、友人や恩師らと写真を撮ったり近況報告や思い出話に花を咲かせたりするなど旧交を温められました。

新成人で作る成人式

式典は、新成人で作る実行委員会により終始和やかに進められました。

進行は鈴木遥巳さん、林佳弥乃さんが務め、荻谷将人実行委員長の開式の言葉で開会すると、磯部史也さん指揮、品村紗佑里さん伴奏での国歌斉唱が行われました。

式辞では、太田市長が「周囲への感謝の気持ちを持ち大切に、明るい未来への道を切り拓いてほしい」と成人を激励。続く記念品贈呈では、林聖也さんに記念品が手渡されました。

また、新成人代表3人による意見発表の後には、瀧田優樹さんか

式典終了後は神輿とお囃子で新成人をお祝い



また、新成人代表3人による意見発表の後には、瀧田優樹さんか



記念品を受け取る林さん

ら「これから大人社会の一員として、匝瑳市で育ち、成長させていただいたことに感謝し、日々精進していきます」と謝辞が述べられ、鈴木雄大副実行委員長による閉会の言葉で幕を閉じました。



▲品村さんのピアノ伴奏
市長と力強く握手する瀧田さん▶

成人代表者意見発表

開会を待つ新成人たち

命を大切に、自分の行動に責任を



八木華七子さん
 周りを見渡すと、私と同じように大学に通う人もいれば、社会人として仕事に従事している人、ただ何となく日々の生活を送っている人など、さまざまな人を見受けれます。そんな一人一人が違った道を歩む中で、

私も大人になるということをかみしめ、与えてもらった命を大切にし、自分の行動に責任を持っていくことを決意します。そして、今以上に努力を重ね、夢を実現し、今度は私たちが次の世代へと貢献できる存在になりたいと思います。

「自他共栄」の精神で常に感謝



佐久間丈明さん
 これまでの自分を振り返ると、私のそばにはいつも柔道という武道がありました。部活を引退し、数年経った今も、地域の柔道教室での練習に励んでいます。これほど長い期間柔道を続けられ、その楽しさ・厳し

さを学ぶことができたのは、中学・高校の部活の顧問の先生、そして八日市場柔道教室の先生・OBの皆さまのおかげです。今までの人生で培った「自他共栄」の精神とともに、この先の人生も常に感謝を忘れずに歩んでいきます。

誰かを支えられる自立した大人に



鈴木沙弥香さん
 これまで育ててくれた父と母、そして、学生時代の宝である友人たち。さらには、地域の方々、先生方。今改めて、たくさんの人に支えられ、恵まれた環境で育ってきたことを実感しています。今まで支えてくれた

方々のためにも、決して妥協して自分を甘やかすようなことはしません。これから先は、支えられるばかりではなく、自分が誰かを支えられるように、思いやりのある自立した大人へと成長していきたいと思っています。

“ハタチのキモチ”

～二十歳の気持ち～

成人を迎えての「誓い」や「抱負」など、“二十歳の気持ち”を会場の新成人に表してもらいました。

